

研究課題名	AIを用いた腹部超音波検査画像からの肝硬度および脂肪化の推定に関する検討
研究の意義・目的	慢性肝疾患では、肝臓の線維化や脂肪化が病気の進展、発癌、食道静脈瘤や腹水などの合併症や予後と非常に深くかかわることが知られています。肝線維化や脂肪化は、肝生検を実施して肝臓の組織を調べることがわかりますが、出血や疼痛のリスクを伴う検査です。近年、フィブロスキャンという超音波機器で肝硬度や脂肪を測定することが可能となり、それにより肝の線維化や脂肪化が推定できるようになりました。しかしながら、フィブロスキャンという専用機器を有し、検査を実施できる施設は限られます。本研究は、日常診療で実施される腹部超音波検査で得られた画像をAI（artificial intelligence:人工知能）を用いた方法で解析し、肝硬度および脂肪化の進展度を仮想的に推定することを目的としています。
研究を行う期間	研究機関の長の実施許可後 ～ 2024年3月31日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2017年4月から研究期間内に大阪市立大学医学部附属病院もしくは大阪公立大学医学部附属病院で、肝疾患の診断や治療のために、受診もしくは入院され、腹部超音波検査とフィブロスキャン検査を受けた方が対象となります。また、Med City21で健診として腹部超音波検査とフィブロスキャン検査を受けた方も対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程や健診で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【年齢、性別、検査前の状態、基礎疾患、フィブロスキャンによる肝硬度や脂肪化測定値など診療録、検査データ、腹部超音波検査を含む画像データの記録】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院肝胆膵内科、放射線科、および、MedCity21のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院肝胆膵内科、放射線科、および、MedCity21のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 先端予防医療学 研究責任者 打田佐和子
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 先端予防医療学 （担当者氏名）打田 佐和子 電話番号：(06) 6645-3945 メールアドレス：sawako@omu-cu.ac.jp